

平成23年11月25日
第七管区海上保安本部

問い合わせ先
海洋情報部海洋調査課長 河合 晃司
電話 093-321-2931 (内線) 2530



太古の火山の痕跡と思われる海底地形を発見 (山口県見島付近海底地形調査結果速報)

第七管区海上保安部海洋情報部は、山口県萩市沖合の見島付近の海底で約1,000 万年前の太古の火山の火口と思われる円形の凹地を3つ発見しました。

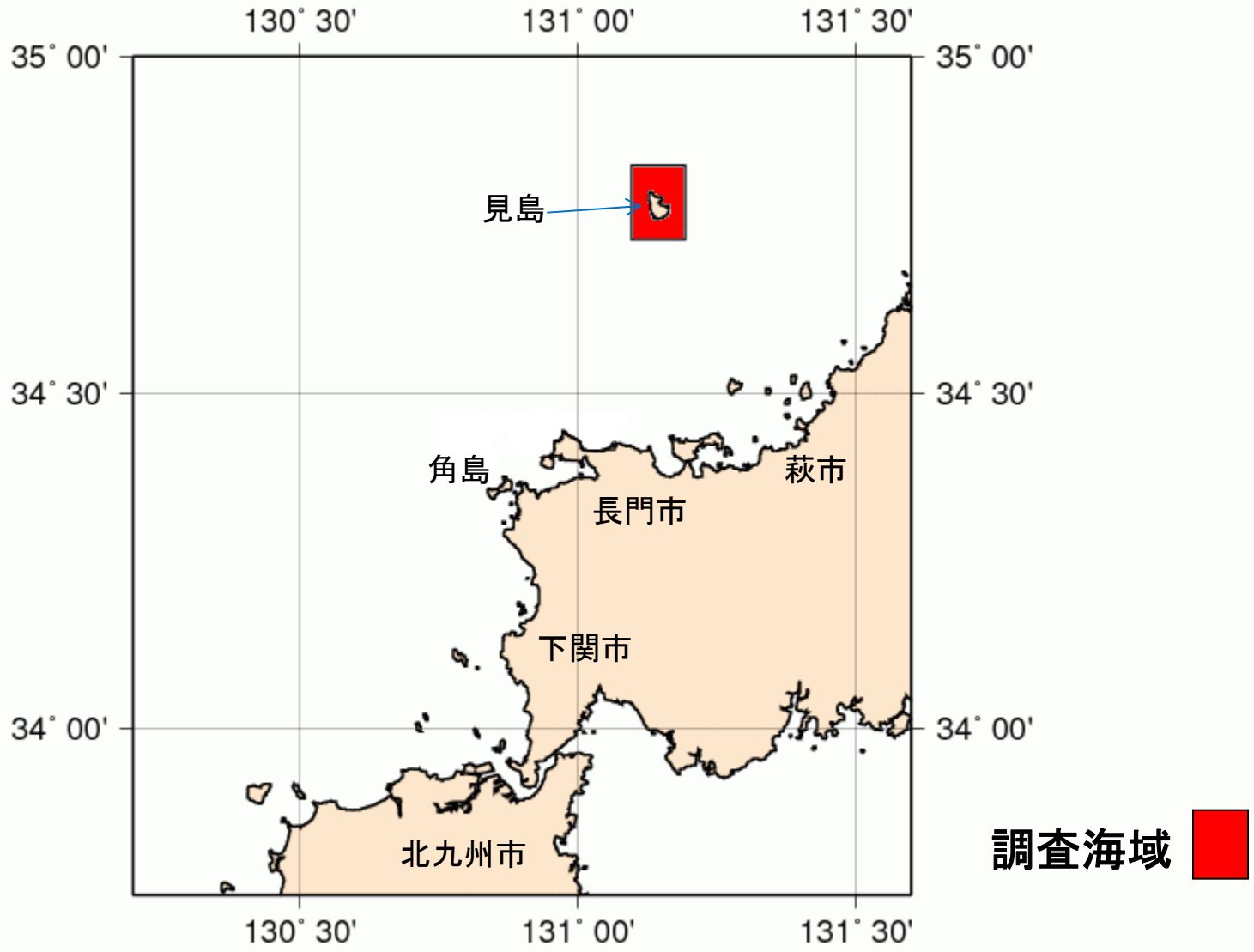
第七管区海上保安本部では、航海用海図の最新維持と我が国の管轄海域の基盤的な情報を整備することを目的として、詳細な海底地形調査を実施しています。

平成23年7月から9月にかけて、山口県萩市北北西沖約45 kmに位置する見島付近において、第七管区海上保安本部所属測量船「はやしお」により、マルチビーム音響測深機を用いた海底地形調査を実施しました。

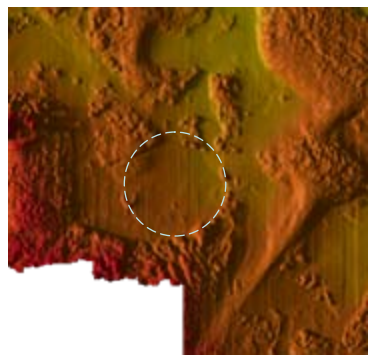
見島は今から約1,200万年前から約820万年前までの火山活動により生成されたとされる火山島ですが、今回の調査によりその周辺の海底で太古の火山の火口と思われる円形の凹地などが見つかりました。こうした、太古の火山は長い年月を経て風化等によりその形状が失われてしまうものですが、見島周辺海域では約1,000万年前の太古の火山の痕跡が海底で侵食されることなく形状を保っており、こうした地形は他にほとんど見ることが無く珍しいものです。

今回の発見は、見島の生い立ちや、ひいては日本海の生成を知るための基礎資料として活用されるもので、地元の大学の研究者などへ情報提供いたします。

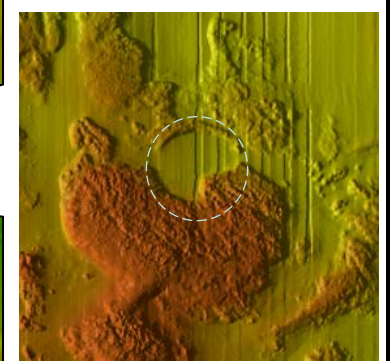
調査海域図



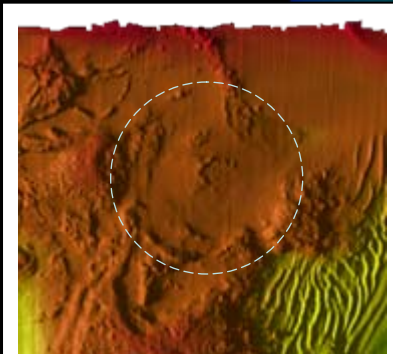
見島付近の海底地形図



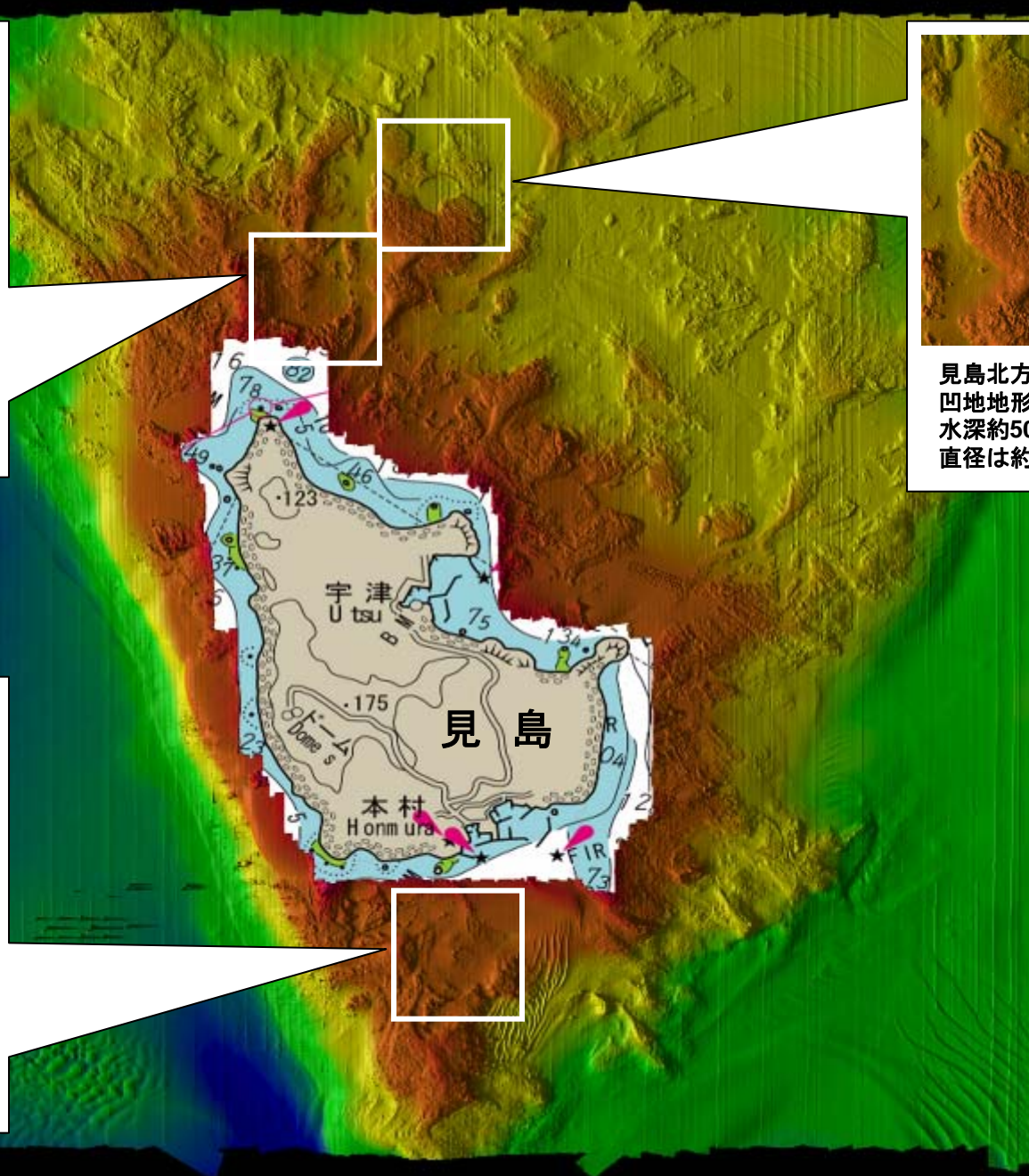
見島北方にある円形の
凹地地形
水深約40m
直径は約500m



見島北方にある円形の
凹地地形
水深約50m
直径は約500m



見島南方にある円形の
凹地地形
水深約40m
直径は約1,000m



水深

2m

60m

120m